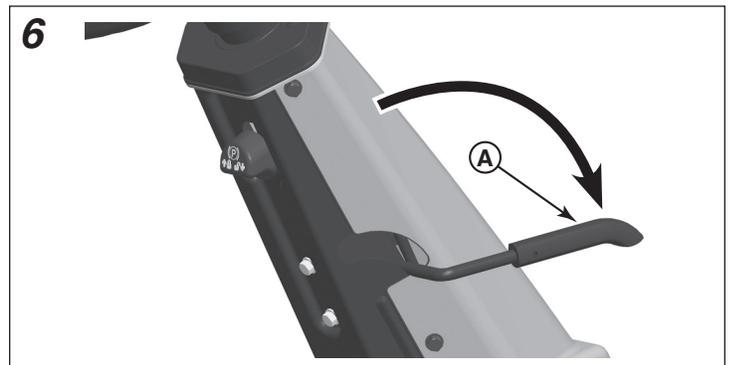
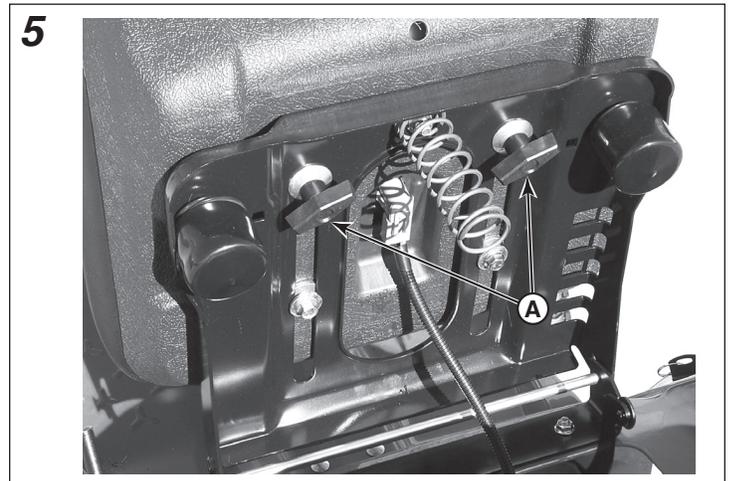
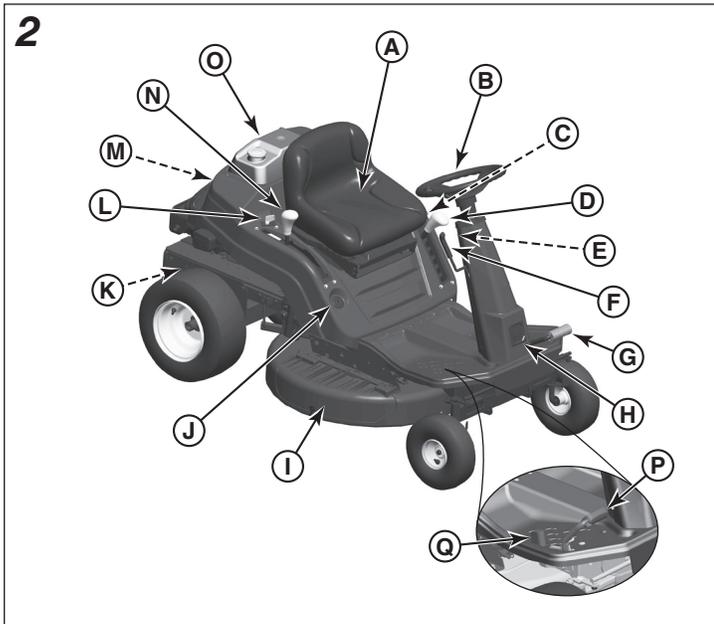
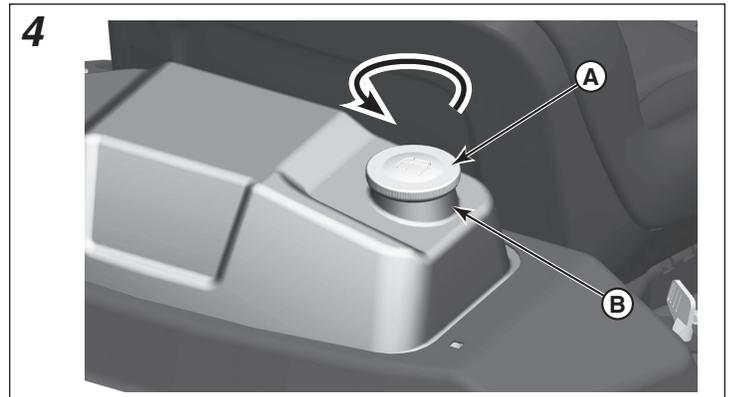
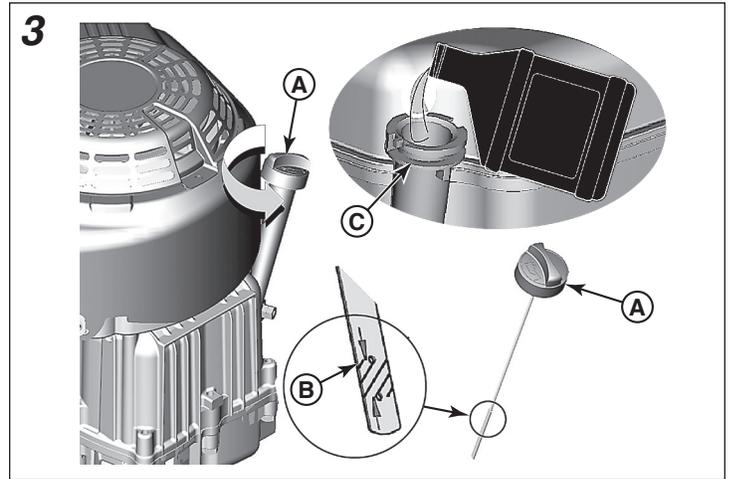
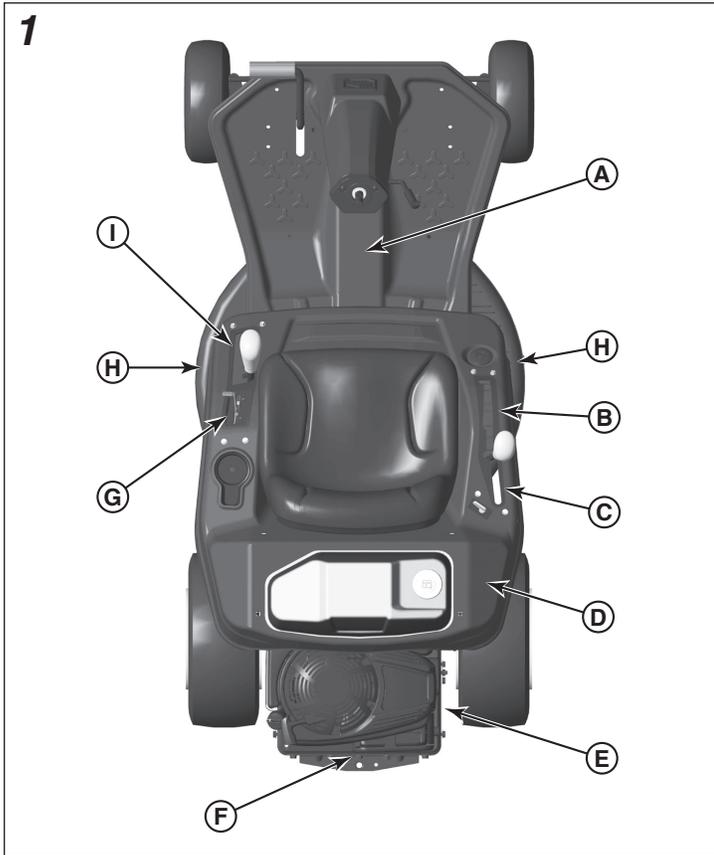
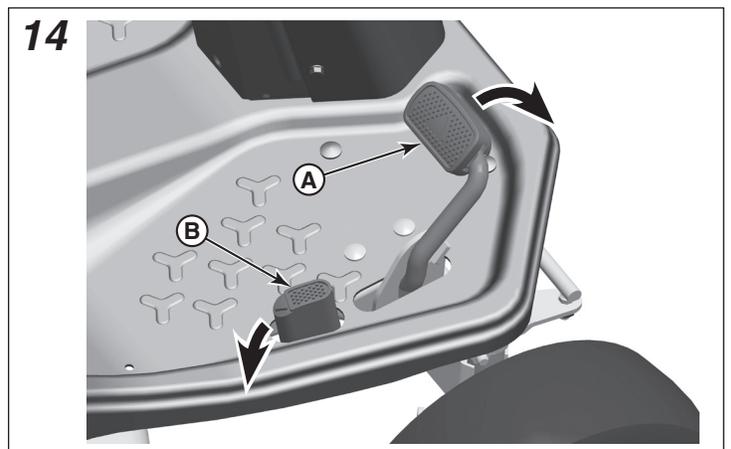
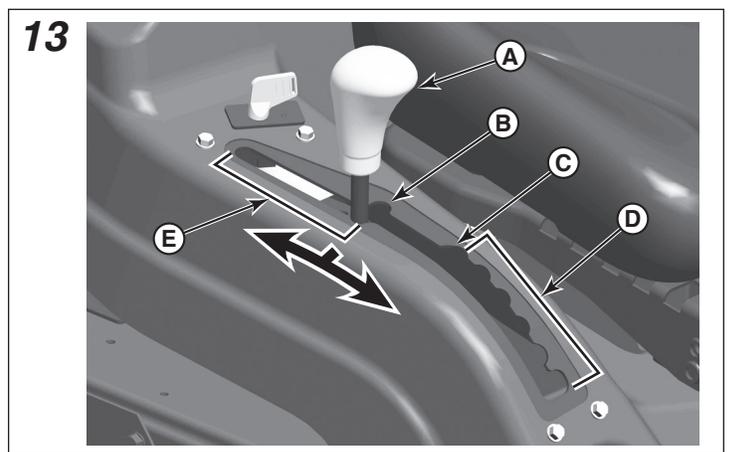
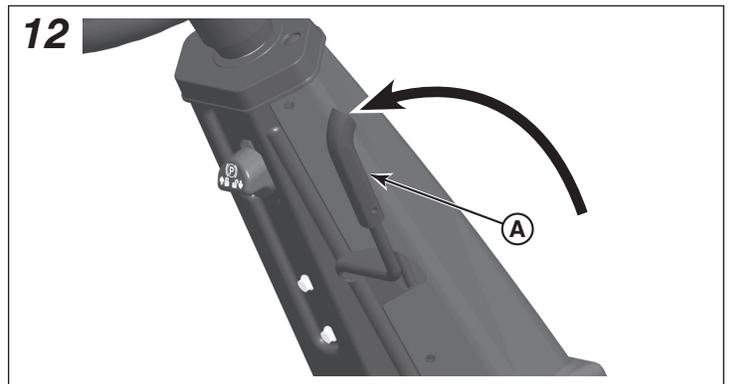
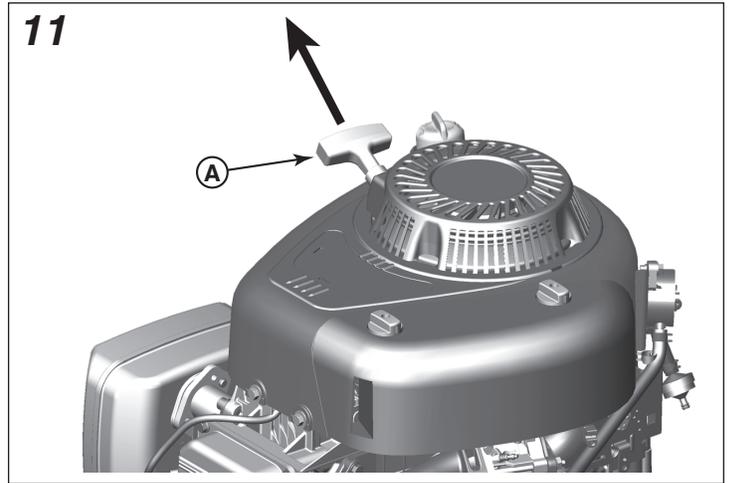
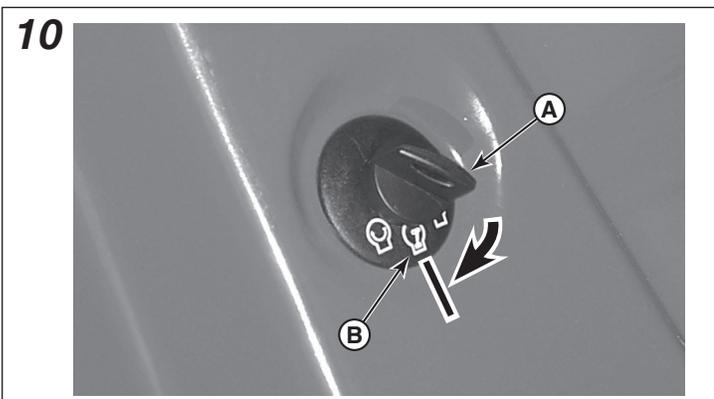
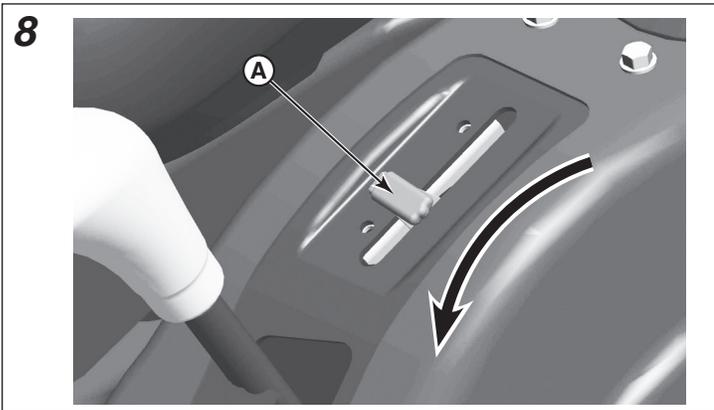
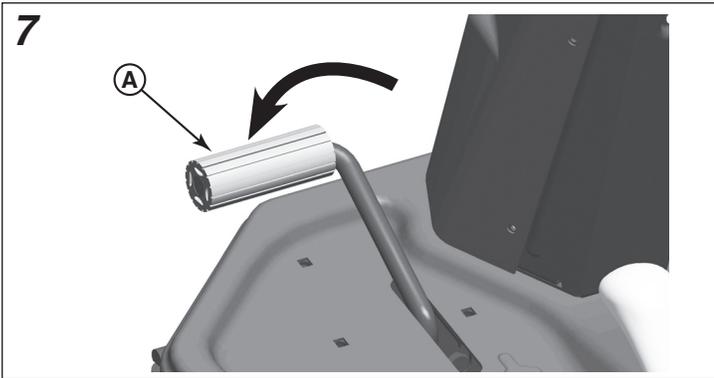
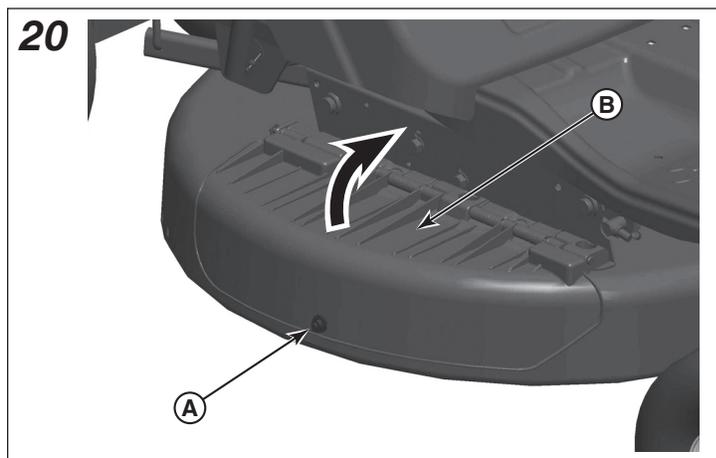
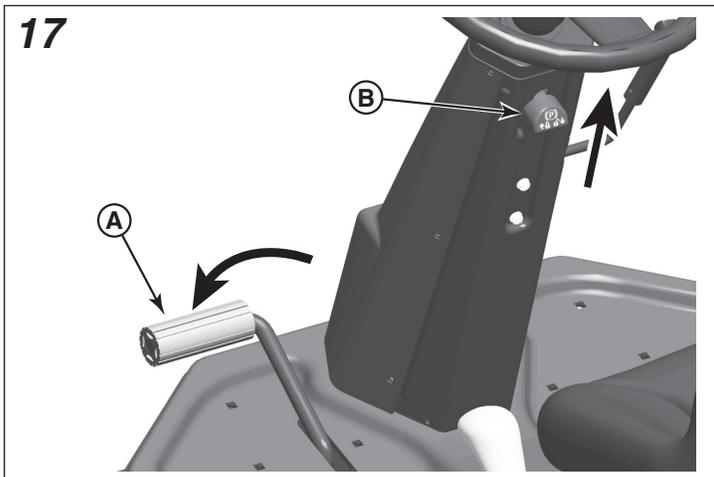
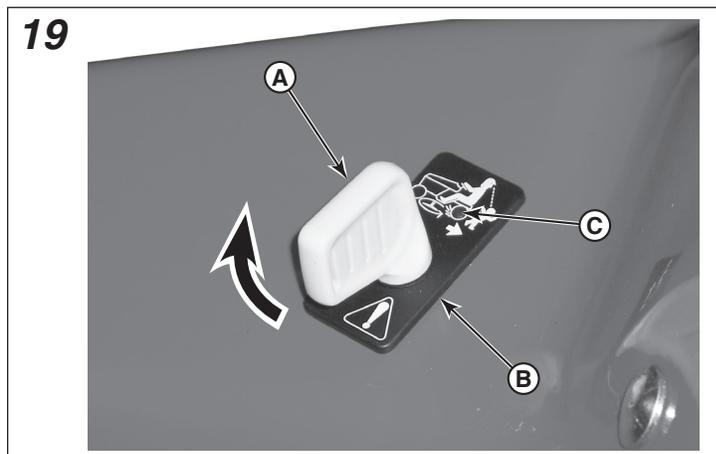
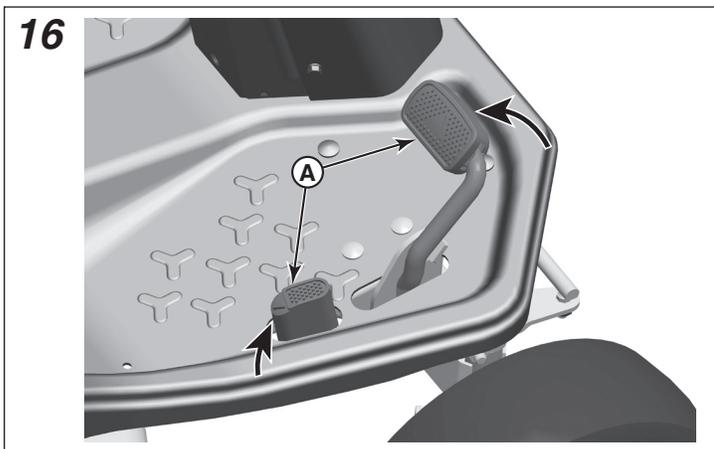
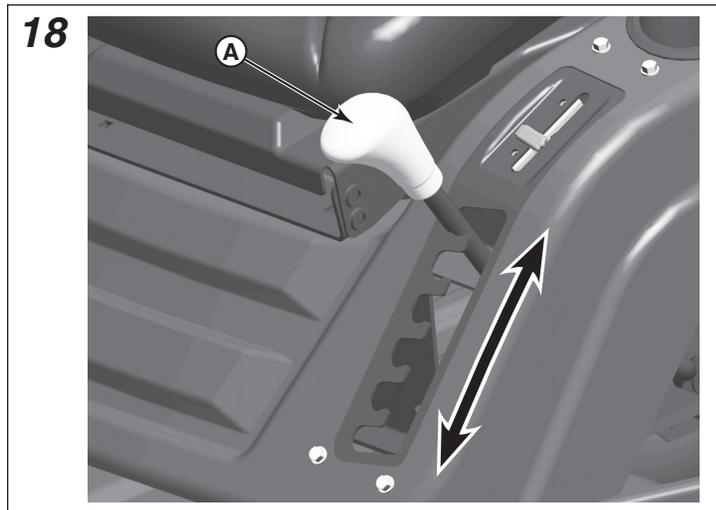


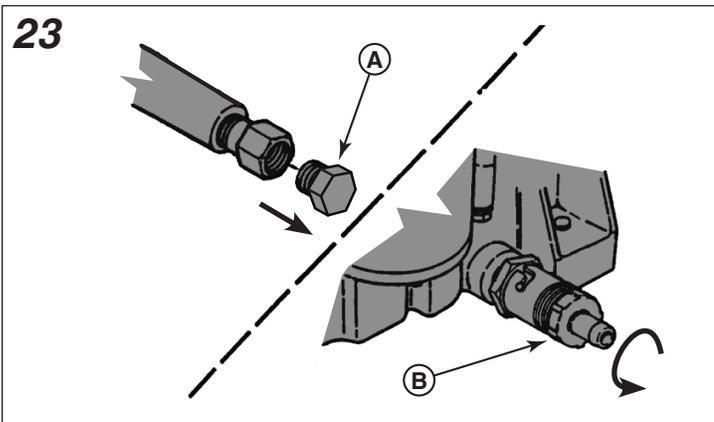
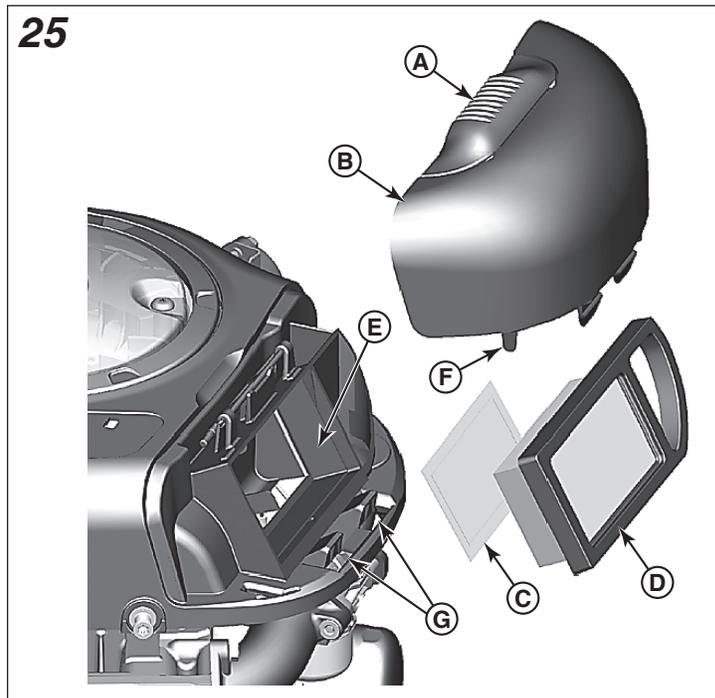
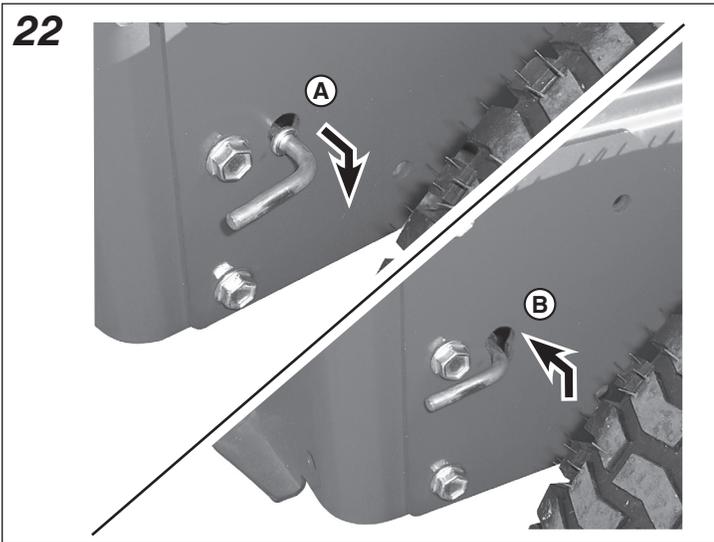
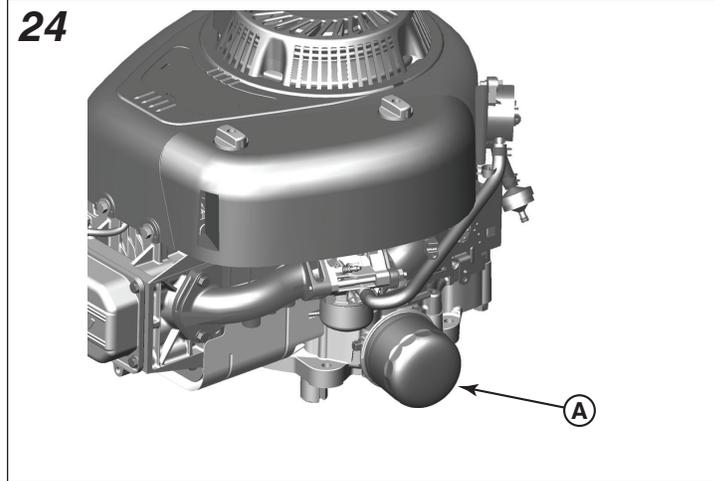
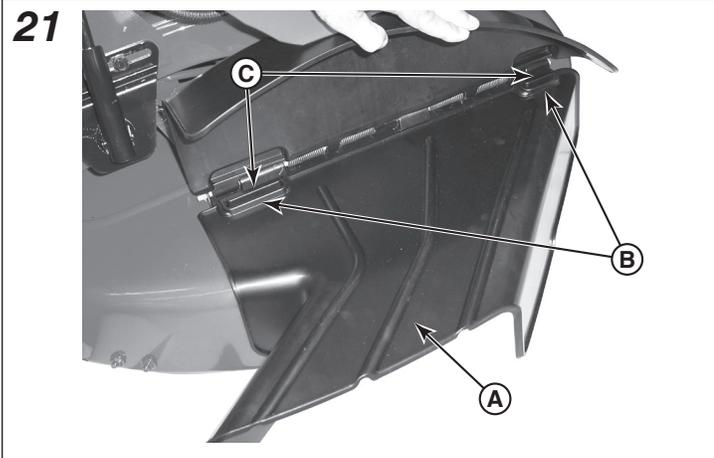
ja 操作マニュアル

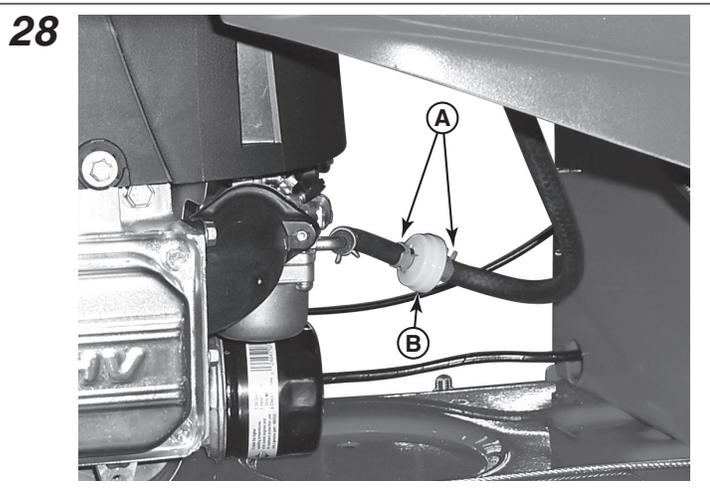
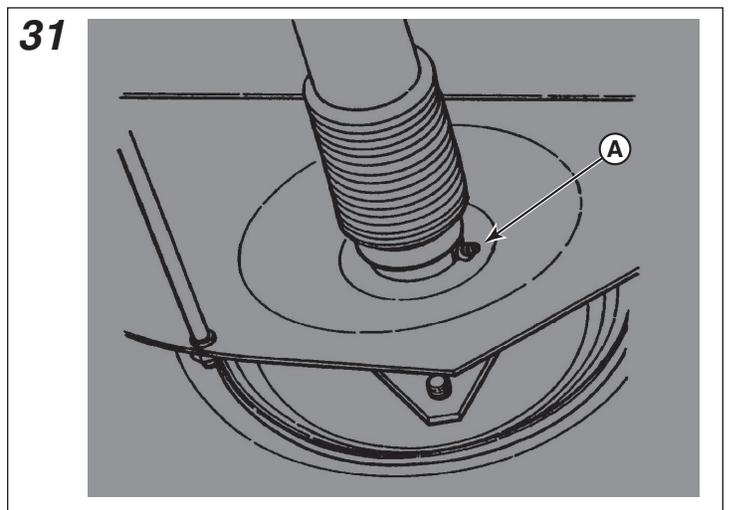
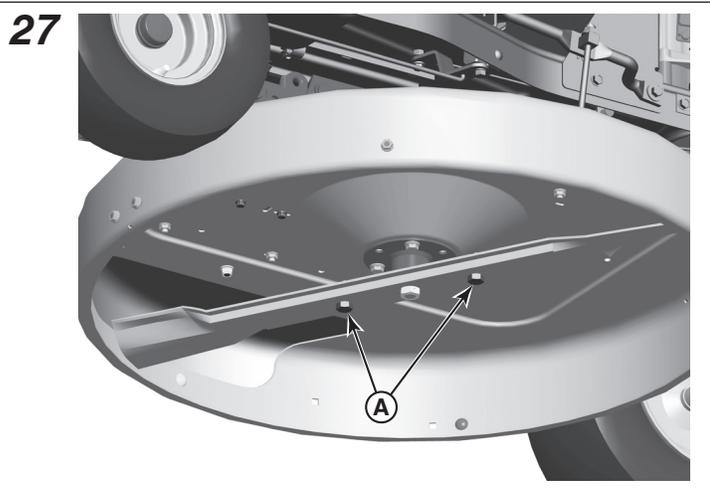
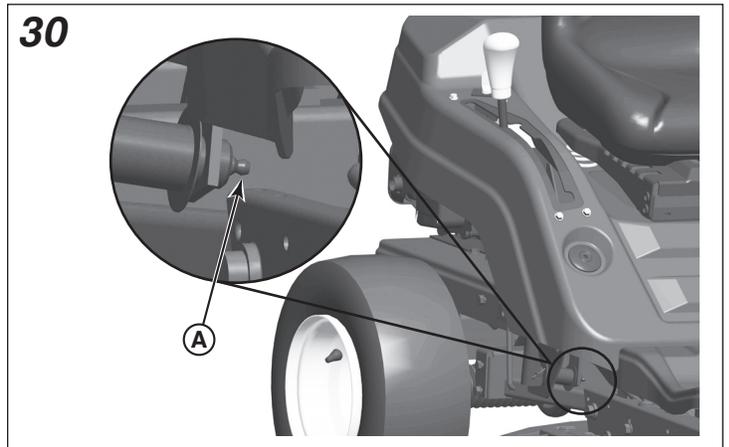
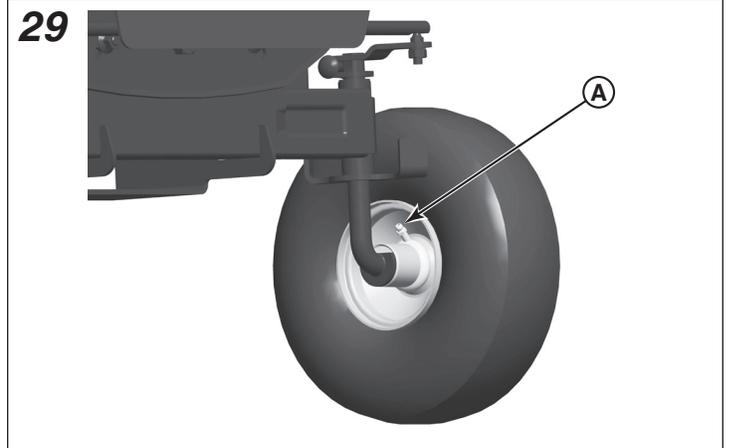
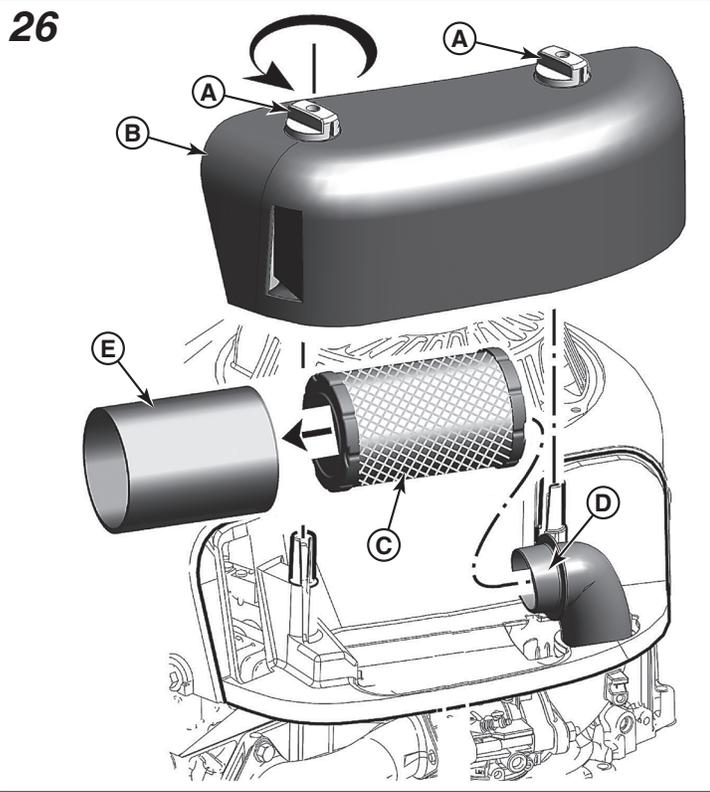


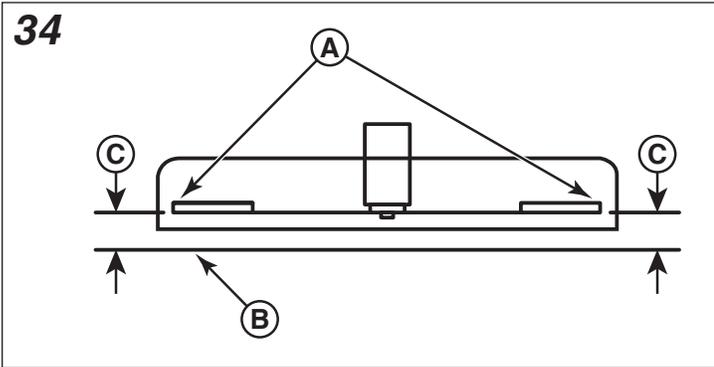
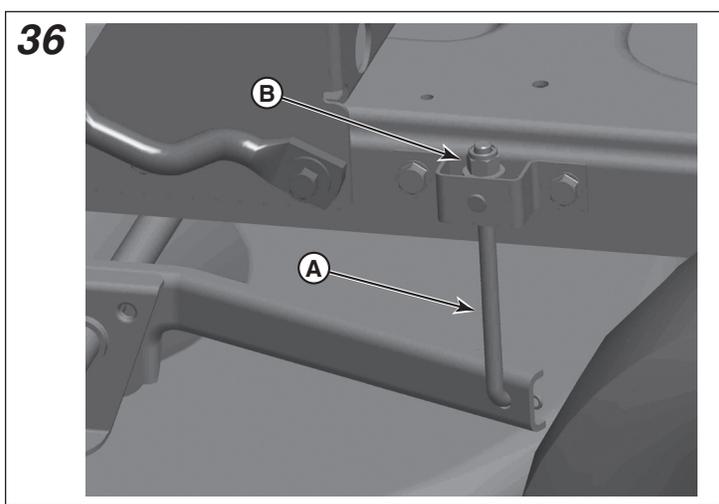
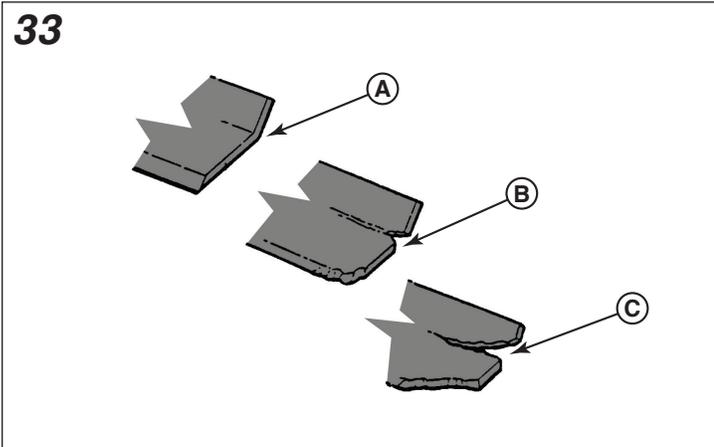
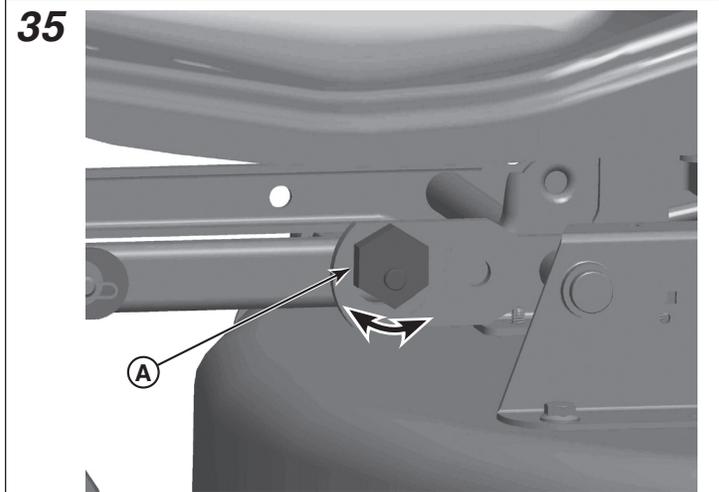
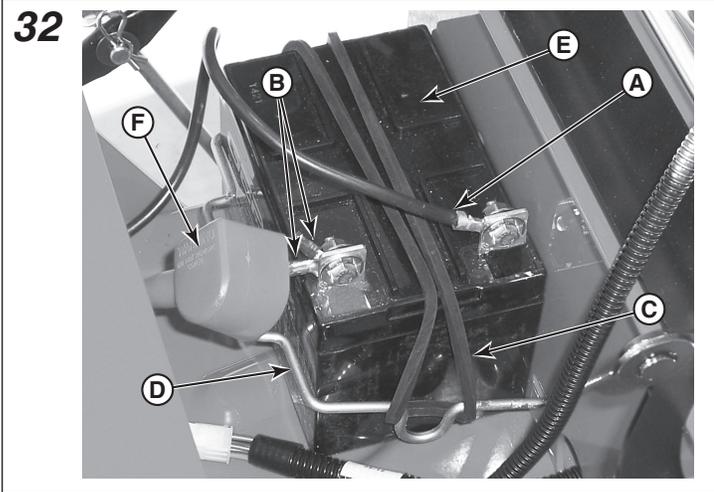












この高品質構造のリア・エンジン・ライダーをご購入いただきありがとうございます。このブランドを信頼していただき光栄に存じます。マニュアルに従って、運転および保守を行っていただければ、購入された製品は、長年にわたる信頼性のあるサービスをご提供します。

本取扱説明書には、装置に伴う危険とリスクを認識し、それらを回避するための安全に関する情報が含まれています。本リア・エンジン・ライダーは、運転者の使用説明書に記載されている通りに使用されるように設計されており、他の用途を対象としておりません。本装置を始動または運転する前に、本説明書をよく読み理解することが重要です。今後の参照のため、本手順書の原本を保管しておいてください。

本製品を使用する前に最終的な組み立てが必要です。最終組み立て手順についての指示は、セットアップ・ガイドを参照してください。説明書の指示に完全に従ってください。

本マニュアルの対象製品

以下の製品は、本マニュアルの対象製品です。

7800950-00, 7800950-01, 7800951-00, 7800951-01,
7800952-00, 7800952-01, 7800953-00, 7800953-01,
7800954-00, 7800954-01

マニュアルの内容:

使用者の安全	8
機能とコントロール	13
安全インターロックシステムのチェック	14
使用	14
メンテナンス	18
トラブルシューティング	24
仕様	25

本製品にある画像は、代表的なものであり、これらが伴う説明文を補足するためのものです。所有されている装置と表示されている画像が一致しない場合があります。左 および 右 は、運転者の位置から見てです。

使用者の安全

安全警告シンボルおよび信号語

安全警報シンボル▲は、人身傷害をもたらす可能性のある危険を示します。信号語(危険、警告または注意)は、潜在的な深刻さを示す警報シンボルと共に使用されます。危険シンボルは危険のタイプを表すために使用される場合があります。「注意」の信号語は人身事故に関係の無い操作に言及する場合に使用されます。

▲ **危険** は避けられなかった場合に、死或いは重症な怪我になる危険を示します。

▲ **警告** は避けられなかった場合に、死或いは重症な怪我になる可能性のある危険を示します。

▲ **注意** は避けられなかった場合に、軽い、或いは中程度の怪我の可能性のある危険を示します。

注意 i は製品の損傷につながる状態を示します。

リア・エンジン・ライダーの危険シンボル 一般的な操作者の安全に関する警告

シンボル	意味	シンボル	意味
	人身傷害をもたらす可能性のある危険についての安全情報。		装置を運転または保守する前に、操作マニュアルを読み、理解してください。
	物が投げられる危険。		切断の危険 - 回転する刃。足を近くに寄せないでください。
	切断の危険 - 可動部品に触れないでください。		切断の危険 - 回転する刃。手を近くに寄せないでください。
	周りの人や子供を近づけないでください。		有毒煙の危険。
	火災の危険。		爆発の危険。
	バッテリー爆発の危険。		感電の危険。
	高温面の危険。		爆発の危険。
	感電の危険。		反発の危険。
	目の保護具を着用することを推奨。		長時間使用する場合は聴力保護具を使用することを推奨。

シンボル	意味	シンボル	意味
	保守を実施する前にキーを抜くこと。		保守を実施する前にスパークプラグワイヤを外すこと。



警告

この強力な切断機は手足を切断する力があり、また物体を飛ばして怪我や損傷を与える可能性があります。次の安全指示に従わない場合、使用者または他の人物が重大な怪我または死亡する可能性があります。本機器の所有者はこれらの指示を理解しなければならず、また機器の使用指示を理解する人物のみによる使用を許可しなければなりません。本機器を使用する各人物は心身共に健全でなければならず、また視覚、機敏さまたは判断を損なう可能性のある薬物の影響を受けてはなりません。

一酸化炭素の警告



警告



有毒ガスの危険。エンジン排気には有毒な一酸化炭素が含まれ、数分で死に至る危険があります。一酸化炭素は透明、無味、無臭です。たとえ排気ガスの臭気を感じなくても一酸化炭素ガスに晒されている危険があります。本製品の使用中に吐き気、めまい、脱力感を感じた場合、「直ちに」使用を中止し新鮮な空気を取り入れてください。医療機関を受診してください。一酸化炭素中毒のおそれがあります。

- 本製品は窓、戸口、換気口からは遠ざけて屋外でのみ使用し、一酸化炭素が蓄積して居住空間に吸い込まれる可能性が無いようにしてください。
- 電池式の一酸化炭素警報器、またはバッテリーバックアップを備えたプラグイン式一酸化炭素警報器をメーカーの説明書に従って取り付けてください。火災報知機では一酸化炭素を検出できません。
- たとえ換気のためにファンを使用したり扉や窓を開けている場合でも、本製品を屋内、車庫、地下室、床下、倉庫、その他部分的に囲まれた場所で使用しないでください。このような場所では一酸化炭素は素早く蓄積され、たとえ本製品の使用を中止した後でも何時間もその場に残ります。
- 本製品は「必ず」風下に設置し、エンジンの排気口は居住空間に向けしないでください。

子供の保護

使用者が子供の存在を見落としした場合、深刻な事故が起こる場合があります。子供は、機械や芝刈りにしばしば引き付けられてしまいます。過去に乗せてもらった子供は、もう一度乗せてもらおうと刈り取り場所に突然現れたり、機械によって前進やバックで引かれたりするかも知れません。子供を最後に見た場所に彼らがそのまま居ると思いついてはいけません。

1. 子供が芝刈り場所に入らないようにし、使用者以外の別の信頼できる大人の油断のない注意が払われるようにします。
2. (たとえ刃が動いていなくても)機械の使用中に子供を庭に入れしないでください。
3. (たとえ刃が動いていなくても)機械、取り付け具、またはけん引される機器に子供やその他の人を乗せないでください。落ちて、重傷を負う危険があります。
4. 13歳未満の子供が機器を使用しないようにします。
5. 信頼できる大人および大人の監視下にある判断力を有する13歳以上の子供のみによる機器の使用を許可します。
6. 絶対に必要でない限り、逆向きに刃を動かさないでください。刃を止めてください。バックする前とその間は、子供、ペットおよび危険物がないかどうかを調べるために後および下を確認します。
7. 視界を遮るかも知れない、見通しの悪い曲がり角、灌木、林などの対象に近づくとときは特別の注意を払います。

転倒からの保護

傾斜地は、制御喪失および転倒事故に関連する主要要因であり、深刻な損傷または死をもたらす場合があります。すべての傾斜地には特別な注意が要求されます。その傾斜地を後ろ向きに登れない場合、またはその上で不安を感じる場合は、芝刈り機を使用しないでください。芝キャッチャーまたは他の取り付け具には十分に気をつけます。これらは機器の取り扱いおよび安定性に影響を与えます。

1. 10度(18%の勾配)以上の傾斜地で機械を運転しないでください。
2. 坂を上っている間は刃を動かさないでください。低速で使用し、突然の旋回や急な方向転換は避けてください。
3. 斜面に向かって前後に機械を動かさないでください。上下に動かすようにしてください。傾斜地で刃を動かさない状態で練習してください。
4. 傾斜地では始動、停止または方向転換をしないでください。機械が坂を上らなくなったり、タイヤが摩擦力を失った場合、刃を止めてゆっくりと斜面を真っ直ぐに下りてください。
5. 地面の穴なや他の隠れた危険物に注意します。高い芝は障害物を見えなくする可能性があります。溝、穴、排水溝、フェンス、および突出物に注意します。
6. 溝やその他の断崖から安全な距離(芝刈り機の幅の2倍以上)を取ります。崖が崩れた場合、機械が転倒する恐れがあります。
7. 動かし始めるときは必ずゆっくりと慎重に前進させてください。
8. 機械が後ろに回転している間は前への移動を開始しないでください。後ろ向きに転倒する恐れがあります。
9. 芝キャッチャーまたは他の取り付け具に付属の説明書に従い、重りまたは重り付き運搬具を使用します。芝キャッチャーまたは他の取り付け具を搭載する場合は10度(18%の勾配)以上の傾斜地で機械を運転しないでください。

- 10.足を地面に置くことによって機械を安定させようとししないでください。
- 11.湿った芝の上で機械を運転しないでください。摩擦力が落ちると機械が滑る可能性があります。
- 12.傾斜地では、停止またはギアシフトを行う必要がないよう十分低い速度を選択します。タイヤは、ブレーキが正しく機能しても、傾斜地上で静止摩擦力を失うかも知れません。
- 13.静止摩擦力、ステアリング、または安定性に疑わしい点がある場合、いかなる状態であっても機械を運転しないでください。
- 14.傾斜地を下る場合は必ず機械をギアに入れた状態にします。ニュートラルに入れて(またはハイドロールリリースを作用させて)坂を下らないでください。
- 15.本機械は適用されるANSI B71規格に従い、200ポンドの重量のオペレーターを使用してテストされています。転倒のリスクを最小限に抑えるため、200ポンド以上のオペレーターは芝刈りの対地速度と傾斜地の勾配をさらに制限する必要があります。

準備

1. マニュアル、芝刈り機、エンジンおよび取り付け具に記載された指示および警告を、読み、理解し、そして従います。機械のコントロールおよび適切な使用を開始前に理解します。
2. 機器は適切な設置後に信頼できる人物のみにより使用されるものとします。
3. 芝刈り機に関連する怪我の大部分には60才以上の使用者が関わっているというデータが示されています。これらの使用者は、自分自身および他人を怪我から守るために十分な芝刈り機使用能力を有しているかどうかを確認しなければなりません。
4. 燃料の取り扱いには十分注意します。燃料は可燃物であり、気化ガスには爆発性があります。承認された燃料容器のみを使用します。エンジンが作動している状態で燃料キャップを取り外したり燃料を追加しないでください。燃料の追加はエンジンが停止して冷えた状態で屋外で行います。機械から漏れた燃料は適切に清掃します。喫煙してはなりません。
5. 刃を動かさない状態で機械の操作方法を学習し、技術を身につけてください。
6. 芝を刈るエリアを確認し、玩具、ワイヤー、石、木の枝、および刃に当たって飛ばされたり芝刈りの邪魔になったりする他の物体を取り除きます。
7. 人物やペットが芝を刈るエリアに入らないようにします。芝を刈るエリアに誰かが入った場合、刃、エンジンおよび芝刈り機を速やかに停止します。
8. シールド、偏向板、スイッチ、刃コントロール、および他の安全機器の適切な作動および場所を定期的に確認します。
9. すべての安全ステッカーがはっきりと判読できることを確認します。破損している場合は取り替えます。
- 10.芝刈り時は自分自身を保護し、安全メガネ、防塵マスク、聴力保護具、長ズボンおよび足を十分に保護する靴を着用します。

- 11.緊急時の刃とエンジンの停止方法を理解します。
- 12.機器をトレーラーやトラックに載せたり降ろしたりする時は特に注意します。
- 13.芝キャッチャー部品に摩耗または劣化がないかどうかを頻繁に確認し、弱まったまたは裂けた部分から物体が飛び出して怪我に繋がることを裂けるために必要に応じて交換します。

ガソリンの安全な取扱い

人身または物損事故を裂けるために、ガソリンの取り扱いには十分注意します。ガソリンは引火性が非常に高く、気化ガスには爆発性があります。

1. すべてのたばこ、葉巻たばこ、パイプなどの点火源を消します。
2. 承認された燃料容器のみを使用します。
3. エンジンが作動している状態で燃料キャップを取り外したり燃料を追加したりしてはなりません。エンジンを冷ましてから燃料補給を行います。
4. 機器への燃料再注入は室内で行ってはなりません。
5. 機械または燃料容器を、給湯器などの電気器具の上のような、直火またはパイロットバーナーがあるようなところに、機械または燃料容器を保管しないでください。
6. 車両の内部またはプラスチックの床ライナーの付いたトラックまたはトレーラーの荷台で燃料容器を満杯にしないでください。必ず、容器を所有されている車両から離れた地面の上に置いてから満杯にします。
7. ガソリンを動力源とした装置を車両またはトレーラーから取り外し、地面の上で燃料を補給します。これが可能でない場合、ガソリンディスペンサーノズルからではなくポータブル容器を使用して装置に燃料補給をします。
8. 密閉された車両またはトレーラー内でガソリンで起動する機器をスタートさせてはなりません。
9. 燃料供給が完了するまで、ノズルを燃料タンクの縁または容器の開口部に常に接触させたままにします。ノズルロックオープン装置を使用しないでください。
- 10.燃料が服の上にごぼれた場合は、直ちに服を変えます。
- 11.燃料タンクに過剰充填しないでください。燃料キャップを交換して、しっかり締めます。

使用

1. 機械の左側から乗降します。吐き出し口には決して近づかないでください。
2. 可能な限り運転席からエンジンを始動してください。刃が動いておらず、パーキング・ブレーキがかかっているか確認します。
3. エンジンを起動させたまま機械から離れてはなりません。いかなる理由があっても運転席を離れる前にはエンジンを停止し、刃を止め、キーを抜いてください。
4. 足をフットレストまたはペダルに乗せて正しく着席するまでは機械を操作しないでください。

- 芝キャッチャーを取り外したり芝刈り機の詰まりを取り除く前に刃とエンジンを停止し、必ず刃が動いていないか確認して指や手を切断しないようにしてください。
- 芝を刈っている時以外、刃は必ず停止してください。荒れた地面の上を刈る場合、刃を一番高い位置に設定します。
- デッキの下で回転している刃に手や足を近づけないでください。刃が動いていたり機械が動いている間は足を地面に着けないでください。
- 芝生キャッチャーまたはガードが完全に取り付けられておらず、機能しない状態で機械を作動させてはなりません。吐き出し口を人や通過する車、窓、ドア等に向けてはなりません。
- 速度を落してから向きを変えます。
- 道路近くまたは道路を横切るときは車に注意します。
- 物に当たった場合は直ちにエンジンを停止してください。機械を点検し、修理を行ってから操作を再開します。
- 日光または良好な人工光の中でのみ機械を運転してください。
- 負荷をけん引する場合は慎重に操作してください。負荷は安全にコントロールできる重さに制限し、付属の説明書に記載のとおり負荷をヒッチプレートに取り付けます。
- 傾斜地上では、けん引される機器の重量が静止摩擦力の喪失および制御の喪失の原因になるかも知れません。けん引する際はゆっくり進み、停止するための余分な距離を考慮に入れます。
- 密閉されたエリアでエンジンを起動してはなりません。エンジンからの排出ガスには猛毒である一酸化炭素が含まれています。
- 物を壁や障害物に向けて吐き出さないようにしてください。使用者に向かって跳ね返るかも知れません。
- メーカー承認のアクセサリのみを使用します。アクセサリの適切な使用および取り付けについてはメーカーの指示を参照してください。
- 騒音および振動に晒されるため、装置の運転時間を制限する必要があるかもしれません。
- 落雷の危険があるときは機械を運転しないでください。

けん引

- けん引用に設計された連結装置を持つ機械のみをけん引します。連結装置点以外にけん引される機器を取り付けないでください。
- けん引される装置の重量制限および傾斜地でのけん引については、操作セクションの「けん引の実施」を参照してください。
- けん引される機器に子供やその他の人を乗せないでください。
- 傾斜地上では、けん引される機器の重量が静止摩擦力の喪失および制御の喪失の原因になるかも知れません。傾斜地で運転する際は注意してください。
- ゆっくり進み、停止するための余分な距離を考慮に入れます。

保守

- 芝刈り機または燃料容器は、給湯器、加熱炉、衣服乾燥機、他のガス器具等、直火、スパークまたは種火が煙霧に届くような場所に保管しないでください。機器を保管する前にエンジンが冷えていることを確認します。燃料容器は子供の手が届かず、通気が良く、居住場所でない建物の中に保管します。
- 火事の危険およびエンジンのオーバーヒートを軽減するために、芝、落葉または余分な潤滑油をエンジンおよび機械から取り除きます。
- 燃料タンクから燃料を抜く場合、屋外にあり直火の近くにない承認された容器に入れます。
- ブレーキを頻繁に点検し、必要に応じて調整、修理、または交換します。
- すべてのボルト、ナットおよびネジはしっかりと締め付けてください。すべてのコッタピンが適切な位置にあることを確認します。
- エンジン起動中は常に十分な換気を行います。排気ガスには無臭で有毒な一酸化炭素が含まれています。
- メンテナンスや修理を行う前にバッテリーから負極(黒色)ケーブルを外します。エンジンクランクを回すと怪我をする恐れがあります。
- 安全ブロックを付けずに機械の下で作業しないでください。
- 装置の端を下にして立てないでください。
- エンジンの点検および調節はエンジン停止中のみに行います。スパークプラグからスパークプラグワイヤを取り外し、ワイヤをスパークプラグから離れた位置に固定します。
- エンジン調速設定を変更したりエンジンを過回転させないでください。
- マニュアルに記載された間隔で機械に潤滑油を差し、制御を行いにくすることを防ぎます。
- 芝刈り機の刃は鋭く良く切れます。刃の取り扱い時は何かを巻き付けたり厚手の革手袋を着用したりして注意を払います。
- スパークプラグはスパークプラグホルルの隣に接地することでテストしてはなりません。エンジン内のガスに着火する可能性があります。
- 最低1年に1度機器の点検を認定販売店により行われ、また新しい安全機器が販売店により取り付けられるべきです。
- 必要に応じて、安全および指示ラベルを保守または交換します。
- 修理時は工場認定の交換部品または同等部品のみを使用します。

イグニション・システム

- この火花点火システムは、カナダの ICES-002 規格に適合しています。

安全および指示ステッカー

装置を使用する前に、安全および指示ステッカーをよく読み、理解してください(図1と下の表を比較)。注意、警告、および指示は使用者の安全に関わるものです。人身事故や装置の損傷を避けるため、すべての指示ステッカーを理解し、それらに従ってください。

<p>A クラッチ/ブレーキの操作 刃の嵌合 一般的な警告</p>	
<p>B 前進速度(マニュアルドライブモデル)</p>	
<p>C 後退速度(マニュアルドライブモデル)</p>	
<p>D 再補給する場合は注意が必要</p>	
<p>E トランスミッション解放(ハイドロドライブモデル)</p>	
<p>F 重量制限</p>	
<p>G エンジン速度コントロール チョーク制御(一部のモデル)</p>	

<p>H 吐出し口の安全(デッキの各側面に2 - 1)</p>	
<p>I 切断高</p>	

警告

安全または指示ステッカーが擦り切れた破損したために読めない場合、交換ステッカーをディーラーに注文して下さい。

機能とコントロール

図2の機能とコントロールを下の表と比較してください。

参照	説明	アイコン	アイコンの定義
A	運転席	--	--
B	ステアリングホイール - 装置の向きをコントロール	--	--
C	エンジン速度コントロール(図では非表示) - エンジン速度を制御		チョークオン(閉) - 装備している場合
			エンジン高速
			エンジン低速
D	切断高調整レバー - 切断高を調整		切断高が低
			切断高が高
E	パーキングブレーキクラッチ(図では非表示) - ブレーキをロック		パーキングブレーキオン(嵌合)
F	刃コントロール - 芝刈り機の刃を嵌合		刃オン(嵌合)
			刃オフ(嵌合外し)
G	クラッチ/ブレーキペダル - クラッチ(マニュアルドライブモデル)およびブレーキをかける		クラッチ嵌合(マニュアルドライブモデル)
			ブレーキオン(嵌合)
H	ヘッドライト(非表示、一部のモデル)	--	--

参照	説明	アイコン	アイコンの定義
I	マルチングカバー	--	--
J	イグニション・スイッチ - エンジンを始動		エンジンオフ
			エンジンオン(稼動)
			エンジン始動
K	トランスミッション解放レバー(図では非表示、ハイドロドライブモデル) - 装置が自由に回転できるようにトランスミッションを解放		トランスミッション嵌合(ロック)
			トランスミッション解放(ロック解除)
L	後ろ向き刈り取りスイッチ - トランスミッションが逆方向の時に一時的に芝刈り機の刃を動作可能にする	--	--
M	リコイルスタートハンドル(図では非表示)	--	--
N	トランスミッションシフトレバー(マニュアルドライブモデル) - トランスミッションの速度と向きを選択		前方対地速度
			ニュートラル(対地速度ゼロ)
			後方対地速度
O	燃料タンク	--	--
P	前方対地速度ペダル(ハイドロドライブモデル) - 前方対地速度をコントロール		前方対地速度
Q	後方対地速度ペダル(ハイドロドライブモデル) - 後方対地速度をコントロール		後方対地速度

安全インターロック・システムの点検



危険

安全インターロックまたは安全装置がない場合または適切に機能していない場合は機器を作動させてはなりません。直ちにディーラーに連絡して支援を受けてください。安全装置を無効化、変更または取り外してはなりません。

次の場合、エンジンは始動しないはずですが。

1. クラッチ/ブレーキペダルが完全に踏み込まれていない、または
2. 刃コントロールがオン(嵌合)の位置にある。

次の場合、エンジンが始動するはずですが。

1. 刃コントロールがオフ(嵌合外れ)の位置にあり、かつ
2. クラッチ/ブレーキペダルが完全に踏み込まれている。

次の場合、エンジンと刃は停止しなくてはなりません。

1. 刃コントロールがオン(嵌合)の位置のまま運転者が立ち上がり座席を離れた、または
2. クラッチ/ブレーキペダルがしっかりと踏み込まれていないまま運転者が立ち上がり座席を離れた、あるいは
3. 芝刈り機の刃が嵌合し、後ろ向き刈り取りオプション(RMO)が作動されていない状態で運転者が装置を逆方向に運転しようとした。



警告

芝刈り機の刃が外れた場合、5秒以内に完全停止するはずですが、5秒経っても刃が回転を続ける場合は機械を運転しないでください。調整するには機械を認定ディーラーに送ります。

使用

始める前に

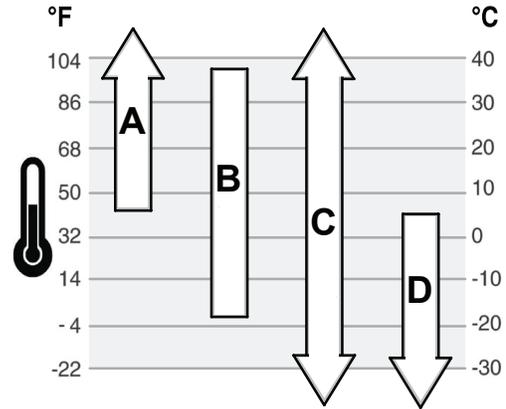
各スタートアップの前に以下のチェックを行い必要な修理を行います。

1. タイヤの空気圧を点検し、必要に応じて空気を入れるか抜きます。保守セクションの「タイヤ空気圧のチェック方法」を参照してください。
2. ガード、偏向板、芝バッグ、およびカバーがあることおよび安全に取り付けられていることを確認します。
3. エンジンオイルを点検し、必要に応じてオイルを追加します。「オイルの点検/追加方法」を参照してください。
4. 必要に応じて燃料を燃料タンクに追加します。「燃料の追加方法」を参照してください。
5. 必要に応じて運転席を最も快適な位置に調節します。「運転席の調節方法」を参照してください。
6. すべてのオペレーターコントロールが膠着することなく自由に動くか確認します。
7. 安全インターロック・システムを点検します。「安全インターロック・システムの点検」を参照してください。

推奨オイル

最適な性能を得るために、Briggs & Stratton純正オイルのご使用を推奨します。また、グレードSF、SG、SH、SJ以上に分類される高性能清浄オイルのご使用も可能です。特殊な添加剤は使用しないでください。

屋外の温度によって、エンジンに適したオイル粘度が異なります。下記のチャートを参照して、予想される室外温度範囲に最適な粘度を選択してください。



A	SAE 30 - 4°C (40°F)以下でSAE 30を使用すると、起動しにくくなります。
B	10W-30 - 27°C (80°F)以上で10W-30を使用すると、オイル消費量が増加することがあります。オイル量を頻繁に確認してください。
C	シンセティック 5W-30
D	5W-30

オイルの点検/追加方法

オイルの追加もしくは点検の前に

- エンジンのレベルを設定して下さい。
 - オイル充填口付近のゴミを清掃して下さい。
1. 検油棒 (A、図3) を外して、きれいな布で拭いて下さい。

メモ：一部のモデルでは、検油棒は運転席背後の開口部からアクセスします。

2. 検油棒を挿入して締めて下さい。
3. 検油棒を外してオイルレベルを点検します。検油棒の満タン表示(B)の最上位置であるべきです。
4. 低い場合、エンジンオイル注入口にオイルをゆっくり追加します (C)。過剰充填しないでください。オイルの追加後、1分間待ってからオイルレベルを再点検します。
5. 検油棒を交換して、締めて下さい。

推奨燃料

燃料は次の条件を満たさなければなりません。

- 汚染されていない、新鮮な無鉛ガソリン。
- 87 オクタン以上/87 AKI (91 RON)。高高度での使用は以下を参照してください。

- 10%までのエタノール含有のガソリン(ガソホール)は許容されます。

注目 E15やE85などの承認されていないガソリンを使用しないでください。ガソリンにオイルを混入したり、代替燃料で使用するためにエンジンを改造したりしないでください。承認されていない燃料を使用するとエンジンの部品を損傷させる原因になります。この損傷は保証の対象になりません。

燃料供給装置がガム質を生成するのを防ぐために、燃料に燃料安定剤を混ぜてください。保管の項を参照してください。すべての燃料は同じではありません。始動または性能の問題が生じた場合、燃料供給業者またはブランドを変更してください。このエンジンは、ガソリンで動作することが保証されています。

このエンジンの排出制御システムは、EM(エンジンモディフィケーション)です。

高度

5,000フィート(1,524メートル)を超える高度では、最低85オクタン/85 AKI(89 RON)ガソリンが許容されます。

キャブレター・エンジンの場合、パフォーマンスを維持するためには高度向けの調整が必要になります。この調整なしに使用すると、性能が低下し、燃料の消費が増え、排出量が増えます。高度調整の情報を得るには、Briggs & Stratton認定サービスディーラーに連絡してください。2,500フィート(762メートル)以下の高度で、高高度の調整をしてエンジンを起動することは推奨されません。

電子式燃料噴射(EFI)エンジンの場合、高度調整は必要ありません。

燃料の追加方法



警告



燃料及びその気化ガスは非常に燃えやすく、爆発しやすいです。火災及び爆発は、重度の火傷や死亡事故の原因となります。

燃料を追加する際

- エンジンを切り、燃料キャップを外す前に少なくとも5分間エンジンを冷やして下さい。
- 燃料タンクは屋外、または換気の良い場所で充填してください。
- 燃料タンクに過剰充填しないでください。燃料が膨張しても良いように、燃料タンクの細くなっている部分の一番下より上に充填しないでください。
- 燃料はスパーク、直火、パイロット・バーナー、熱、その他の引火の原因となるものから遠ざけてください。
- ひびや漏れがないか定期的に燃料ライン、タンク、キャップ、およびフィッティングを確認します。必要に応じて交換します。
- 燃料がこぼれた場合は、蒸発するまでエンジンの始動をお待ちください。

- 燃料キャップ付近の埃やごみを清掃します。燃料キャップを取り外して下さい(A, 図4)。

- タンクに燃料を注入します。燃料が膨張しても良いように、燃料タンクの細くなっている部分(B)の一番下より上に充填しないでください。
- 燃料キャップを再び取り付けます。

運転席の調節方法

エンジンを停止した状態で、

- 運転席を上上げます。
- 2つの調節ノブ(A, 図5)を緩め、座席を目的の位置に動かします。調節後、ノブをしっかりと締めます。
- 運転席を下げます。

エンジンの始動方法



警告



有毒ガスの危険。エンジン排気には有毒な一酸化炭素が含まれ、数分で死に至る危険があります。一酸化炭素は透明、無味、無臭です。たとえ排気ガスの臭気を感じなくても一酸化炭素ガスに晒されている危険があります。本製品の使用中に吐き気、めまい、脱力感を感じた場合、「直ちに」使用を中止し新鮮な空気を取り入れてください。医療機関を受診してください。一酸化炭素中毒のおそれがあります。

- 本製品は窓、戸口、換気口からは遠ざけて屋外でのみ使用し、一酸化炭素が蓄積して居住空間に吸い込まれる可能性が無いようにしてください。
- 電池式の一酸化炭素警報器、またはバッテリーバックアップを備えたプラグイン式一酸化炭素警報器をメーカーの説明書に従って取り付けてください。火災報知機では一酸化炭素を検出できません。
- たとえ換気のためにファンを使用したり扉や窓を開けている場合でも、本製品を屋内、車庫、地下室、床下、倉庫、その他部分的に囲まれた場所で使用しないでください。このような場所では一酸化炭素は素早く蓄積され、たとえ本製品の使用を中止した後でも何時間もその場に残ります。
- 本製品は「必ず」風下に設置し、エンジンの排気口は居住空間に向けないでください。

電動スターター:

- 運転席にしっかりと着席します。
- マニュアルドライブモデル-トランスミッションシフトレバーをニュートラル(N)の位置に合わせます。「トランスミッションの設定方法」を参照してください。



警告

トランスミッションシフトレバーをドライブ位置にしたままエンジンを始動しないでください。始動手順に慎重に従ってください。

3. 刃コントロール(A、図6)がオフ位置にあることを確認します。
4. クラッチ/ブレーキペダル(A、図7)をしっかりと踏み込みます。
5. エンジン速度コントロール(A、図8)を高速位置(装備している場合はチョーク位置)に合わせます。

メモ: 温まっているエンジンをスタートさせる場合、チョーク位置にする必要はありません。

6. イグニションキー(A、図9)をイグニション・スイッチに差し込みます。エンジンが始動するまでキーをスタート位置に回します。

メモ: イグニション・キーをスタートの位置に回すとエンジンが回転を始めますが、クラッチ/ブレーキペダルがしっかりと踏まれ、刃コントロールがオフの位置にない限り始動しません。

メモ: エンジンをクランクしてから5秒経っても始動しない場合、クラッチ/ブレーキペダルがしっかりと踏み込まれているか確認し、20秒ほど待ってから再度始動してみてください。

7. エンジンが始動したら、エンジン速度コントロールを高速位置(チョークが装備されている場合はチョーク位置)に合わせ、エンジンがスムーズに運転するようになるまでしばらくウォームアップさせます。

メモ: 常にエンジン速度コントロールを高速位置にして運転してください。

メモ: イグニション・スイッチが運転またはスタート位置にある時、ヘッドライト(一部のモデルに搭載)はいつでも作動可能です。

リコイルスタート:

1. マニュアルドライブモデル - トランスミッションシフトレバーをニュートラル(N)の位置に合わせます。「トランスミッションの設定方法」を参照してください。



警告

トランスミッションシフトレバーをドライブ位置にしたままエンジンを始動しないでください。始動手順に慎重に従ってください。

2. 刃コントロール(A、図6)がオフ位置にあることを確認します。
3. パーキング・ブレーキをかけます。「パーキング・ブレーキの設定方法」を参照してください。
4. エンジン速度コントロール(A、図8)を高速位置(装備している場合はチョーク位置)に合わせます。

メモ: 温まっているエンジンをスタートさせる場合、チョーク位置にする必要はありません。

5. イグニションキー(A、図10)をイグニション・スイッチに差し込みます。キーを運転位置(B)に回します。
6. エンジンのリコイルスタートハンドル(A、図11)を握り、エンジンがスタートするまで素早く引きます。
7. エンジンが始動したら、エンジン速度コントロールを高速位置(チョークが装備されている場合はチョーク位置)に合わせ、エンジンがスムーズに運転するようになるまでしばらくウォームアップさせます。

メモ: 常にエンジン速度コントロールを高速位置にして運転してください。

メモ: イグニション・スイッチが運転位置にある時、ヘッドライト(一部のモデルに搭載)はいつでも作動可能です。

芝刈り機の刃の嵌め合い

1. エンジンをスタートさせます。
2. 刃コントロール(A、図12)をオンの位置に合わせます。

トランスミッションの設定方法

マニュアルドライブモデル:

1. エンジンの始動
2. 前進するには:
 - クラッチ/ブレーキペダル(A、図7)を踏み込みます。
 - トランスミッションシフトレバー(A、図13)をニュートラル(N)の位置(B)から1速のノッチ(C)に合わせます。
 - クラッチ/ブレーキペダルを離し、前進移動を開始します。
 - 前進中、クラッチ/ブレーキペダルを踏まずにトランスミッションシフトレバーを好きな前進速度(D)に合わせることができます。
3. バックするには:
 - クラッチ/ブレーキペダル(A、図7)を踏み込みます。
 - トランスミッションシフトレバー(A、図13)をニュートラル(N)の位置(B)から後退速度スロット(E)に合わせます。

バック中、クラッチ/ブレーキペダルを踏まずにトランスミッションシフトレバーを好きな後退速度に合わせることができます。

ハイドロドライブモデル:

1. エンジンの始動
2. パーキング・ブレーキが解除されているか確認します。「パーキング・ブレーキの設定方法」を参照してください。
3. 前進するには:
 - 前方対地速度ペダル(A、図14)をゆっくりと踏み込み、前進を開始します。ペダルをさらに踏み込むと対地速度が増します。
4. バックするには:
 - 後方対地速度ペダル(B、図14)をゆっくりと踏み込み、バックを開始します。ペダルをさらに踏み込むと対地速度が増します。

メモ: 最適な芝刈りの結果を得るには、低速の前進を選択してエンジン速度コントロールを高速位置にします。この組み合わせにすると、芝刈り機の刃が芝を持ち上げながらスムーズに均一に刈ることができます。

注意

芝刈り機の刃が嵌め合っている時にトランスミッションを逆向きに動かすと、エンジンが停止します。後ろ向きに刈り取る必要がある場合、「後ろ向き刈り取りオプション (RMO)」を参照してください。



警告

バックする前とその間は、子供、ペットおよび危険物がないかどうかを調べるために後および下を確認します。



警告

エンジンを起動させたままで機器から離れてはなりません。刃を止めてください。エンジンを止めてください。ニュートラルに変え、パーキング・ブレーキをかけます。キーを抜きます。

エンジン、トランスミッション、芝刈り機の刃の停止方法

エンジン

1. イグニッションキー(A、図15)をオフの位置に回してエンジンを停止します。
2. キーを抜きます。

トランスミッション

・ マニュアルドライブモデル:

1. クラッチ/ブレーキペダル(A、図7)をしっかりと踏み込んでクラッチを外し、ブレーキをかけることで装置の動きを止めます。
2. トランスミッションシフトレバーをニュートラル(N)の位置に戻します。「トランスミッションの設定方法」を参照してください。

・ ハイドロドライブモデル:

1. 対地速度ペダル(A、図16)を完全に解放することで装置の動きを止めます。もう一つのブレーキをかけるにはブレーキペダル(A、図7)を踏み込みます。

芝刈り機の刃

1. 刃コントロール(A、図6)をオフの位置に回して芝刈り機の刃を停止します。



警告

刃が外れた場合、5秒以内に完全停止するはずですが、5秒以上経っても刃が回転し続ける場合、刃のブレーキを調整する必要があります。調整するには機械を認定ディーラーに送ります。刃のブレーキを調整し、正しく機能するようになるまで機械を使用しないでください。

パーキング・ブレーキの設定方法

1. クラッチ/ブレーキペダル(A、図17)をしっかりと踏み込みます。
2. パーキング・ブレーキラッチ(B)を上スライドさせ、クラッチ/ブレーキペダルを離して保持します。これでパーキング・ブレーキがかかりました。
3. パーキング・ブレーキを解除するには、クラッチ/ブレーキペダルをしっかりと踏み込みます。パーキング・ブレーキが自動的に解除されます。



警告

本機械を傾斜地に駐車しないでください。

切断高の調節方法

1. 芝刈り機の切断高さ調整レバー(A、図18)を、切断ノッチの目的の高さに合わせて上下に動かします。

後ろ向き刈り取りオプション (RMO)



警告

後ろ向きの芝刈りは、すぐ近くにいる人たちにとって危険になる場合があります。使用者が子供の存在を見落とした場合、深刻な事故が起こる場合があります。子供がいる場合は、RMOを作動させないでください。子供は、装置や芝刈りの活発な動作にしばしば引き付けられてしまいます。

1. 芝刈り機の刃を嵌めます。「芝刈り機の刃の嵌合方法」を参照してください。
2. 付属のキー(A、図19)をRMOスイッチ(B)に差し込み、キーを回してRMO機能を作動させます。LED光(C)によって、RMO機能が作動したことが示されます。
3. トランスミッションを逆方向に設定します。「トランスミッションの設定方法」を参照してください。
4. 芝刈り機の刃が外れるとRMO機能が解除されます。

吐き出し偏向板の取り付け方法



警告



エンジン稼働中に調節、保守、サービス、または修理を行おうとしないでください。

- ・ エンジンを止めます。
- ・ 刃を止めます。
- ・ パーキング・ブレーキをかけます。
- ・ キーを抜きます。
- ・ スパークプラグからスパークプラグの配線を外し、プラグから離れた位置に固定します。
- ・ エンジンおよび部品は高温です。深刻な火傷を防ぐため、機械で作業する前にすべての部品が冷めるのを待ってください。

1. マルチングカバー(B)の下端と芝刈り機のデッキを留めているナットとワッシャー(A、図20)を外します。



警告

この機械に常にマルチングカバーを装着している必要があります。取り外さないでください。

2. マルチングカバーを取り外します。ワッシャーとナットをデッキの固定ボルトに戻し、しっかりと締めます。
3. 吐き出し偏向板(A、図21)を芝刈り機のデッキを取り付け、偏向板の溝(B)がマルチングカバーのヒンジブラケットにある固定用タブ(C)にしっかりと嵌っているか確認します。
4. マルチングカバーを下に下げます。
5. 以下のように吐き出し偏向板を外します。
 - マルチングカバーを上上げます。
 - 芝刈り機デッキから吐き出し偏向板を持ち上げ、取り外します。
 - デッキの固定用ボルトからナットとワッシャーを外します。
 - マルチングカバーを下げ、ワッシャーとナットを締めます。十分に締め付けます。

装置を手動で押す方法

マニュアルドライブモデル:

1. 装置が平らな水平面に駐車しているか確認します。
2. トランスミッションシフトレバーがニュートラル(N)の位置にあるか確認します。「トランスミッションの設定方法」を参照してください。
3. パーキング・ブレーキがかかっている場合は解除します。「パーキング・ブレーキの設定方法」を参照してください。
4. これで装置は手で押すことができます。装置を目的の場所まで移動した後は必ずパーキング・ブレーキをかけてください。

ハイドロドライブモデル:

1. 装置が平らな水平面に駐車しているか確認します。
2. パーキング・ブレーキがかかっている場合は解除します。「パーキング・ブレーキの設定方法」を参照してください。
3. トランスミッション解放レバー(右後輪の後ろに配置)を引き出してロッキングスロット(A、図22)に差し込み、トランスミッションを解除します。
4. これで装置は手で押すことができます。
5. 装置を目的の場所まで移動したら、トランスミッション解放レバーを上上げて挿し込み(B)、トランスミッションをセットします。

トレーラーのけん引

水平方向の許容最大けん引力は34ポンド(150N)*です。垂直方向の許容最大けん引力は20ポンド(90N)*です。

* おおよその値

保守



警告



エンジン稼働中に調節、保守、サービス、または修理を行おうとしないでください。

- エンジンを止めます。
- 刃を止めます。
- パーキング・ブレーキをかけます。
- キーを抜きます。
- スパークプラグからスパークプラグの配線を外し、プラグから離れた位置に固定します。
- エンジンおよび部品は高温です。深刻な火傷を防ぐため、機械で作業する前にすべての部品が冷めるのを待ってください。

保守スケジュール

ライダー
8時間ごと、或いは毎日
<ul style="list-style-type: none"> • 安全インターロックシステムのチェック • ライダーから異物を取り除く • エンジンエリアのごみを取り除く
25時間ごと、或いは年に一回*
<ul style="list-style-type: none"> • タイヤ圧力のチェック • 芝刈り機の刃の停止時間のチェック • ライダーのハードウェアに緩みがないかのチェック
50時間ごと、或いは年に一回*
<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーおよびケーブルの清掃 • ブレーキのチェック
年に一回ディーラーに診てもらふこと
<ul style="list-style-type: none"> • ライダーに潤滑剤を塗布 • 芝刈り機ドライブベルトの点検 • 芝刈り機の刃のチェック**

* いずれか早い方

** 砂地または高塵埃状況を伴う地域ではより頻繁に刃をチェックします。

エンジン
最初の5時間
・エンジンオイルの交換
8時間ごと、或いは毎日
・エンジンオイルレベルの点検
25時間ごと、或いは年に一回*
・エンジンのエア・フィルターおよびプレ・クリーナーの清掃**
50時間ごと、或いは年に一回*
・エンジンオイルの交換
・オイルフィルターの交換
年に一回
・エアフィルターの交換
・プレ・クリーナーの交換
年に一回ディーラーに診てもらうこと
・マフラーの点検
・スパークプラグの交換
・燃料フィルターの交換
・エンジンのエア冷却システムの清掃

* いずれか早い方

** 埃っぽい状況や、空中を浮遊するごみがあるときはより頻繁に清掃します。

エンジンの保守

エンジンオイルの交換方法

使用済みオイルは有害廃棄物であり、適切に廃棄する必要があります。家庭用ごみと一緒に廃棄しないでください。安全な廃棄場所/リサイクル施設については現地当局、サービスセンター、またはディーラーにお問い合わせください。

1. 前輪の下にレンガまたは木片をはさみ、エンジン後部を下げます。
2. エンジンのオイル充填キャップを緩めるか取り外します。
3. 2クォート以上の容量を持つ容器をオイル・ドレン端の下に置きます(図23)。
4. エンジンに装備されているオイル・ドレン・プラグの種類に応じて、オイル・ドレン・プラグを取り外すか開けます(AまたはB、図23)。

メモ: オイル・ドレンの位置はモデルによって異なります。

5. すべてのオイルを排出した後、ドレン・プラグを元に戻すか閉じて、こぼれたオイルをすべて拭き取ります。使用済みオイルは適切に廃棄します。
6. エンジンに新しいオイルを注ぎます。操作セクションの「オイルの点検/追加方法」を参照してください。

オイルフィルターの交換方法(装備されている場合)

一部のモデルにはオイルフィルターが装備されています。交換する時期については保守表をご覧ください。

1. エンジンからオイルを抜き出します。「エンジンオイルの交換方法」を参照してください。
2. オイルフィルター(A、図24)を取り外し、適切に廃棄します。
メモ: オイルフィルターの位置はモデルによって異なります。
3. 新しいオイルフィルターを設置する前に、オイルフィルターガスケットに新しい混入物のないオイルを潤滑油として少量使ってください。
4. ガスケットがオイルフィルターアダプターに接触するまで手で取り付けて、それからオイルフィルターを1/2から3/4回転締めます。
5. オイルを注入します。操作セクションの「オイルの点検/追加方法」を参照してください。
6. エンジンを起動します。エンジンの暖機運転中にオイル漏れを点検します。
7. エンジンを止めてオイルレベルを点検します。検油棒の満タン表示の最上位置であるべきです。

エアフィルターの整備方法


警告



燃料及びその気化ガスは非常に燃えやすく、爆発しやすいです。火災及び爆発は、重度の火傷や死亡事故の原因となります。

- ・ エアクリーナー-アセンブリー(装備されている場合)やエアフィルター(装備されている場合)を外した状態でエンジンを始動したり運転したりしないで下さい。

注目

フィルターの清掃には圧縮空気または溶剤を使用しないでください。圧縮空気は、フィルターを損傷させる場合があり、溶剤はフィルターを溶解させます。

平面エア・フィルター

1. カバーのハンドル(A、図25)を引き出します。カバーのハンドルをエンジン方向に回し、カバー(B)を取り外します。
2. 装備されている場合、プレクリーナー(C)をフィルター(D)から外します。
3. 付着した汚れを取りやすくするため、フィルターを固い面の上で軽くたたきます。フィルターがひどく汚れている場合は新しいフィルターに交換します。
4. プレクリーナーを液体洗剤と水で洗浄します。それから、完全に空気乾燥させます。プレクリーナーには油を差さないでください。
5. 乾燥したプレクリーナーとフィルターをエンジン・ベース(E)に取り付けます。
6. カバーのタブ(F)の位置をブロワーハウジングのスロット(G)に合わせます。カバーのハンドルを回して戻し、押して元の位置にロックします。

円筒カートリッジエアフィルター

1. ファスナー(A、図26)およびエアフィルターカバー(B)を取り外します。

2. フィルター (C) を取り外すには、フィルターの端を持ち上げて、フィルターを吸気口 (D) から引き出します。
3. 装備されていれば、エア・クリーナー(E)をエア・フィルターから外して下さい。
4. 付着した汚れを取りやすくするため、フィルターを固い面の上で軽くたたきます。フィルターがひどく汚れている場合は新しいフィルターに交換します。
5. プレクリーナーを液体洗剤と水で洗浄します。それから、完全に空気乾燥させます。プレクリーナーには油を差さないでください。
6. プレクリーナーが乾いたらフィルターに取り付けます。
7. フィルターを吸気口に取り付けます。表示されているように、フィルターの端をベースに押し込みます。フィルターがベースにしっかりとハマっているか確認します。
8. エアフィルターカバーを取り付けて、ファスナーで固定します。

ライダーの保守(基本)

安全インターロック・システムのチェック方法

操作マニュアルの「安全インターロック・システムのチェック」を参照してください。

ライダーおよび芝刈り機デッキの清掃方法



警告

切断刃の取り扱い時または作業時は厚手の革手袋を着用します。刃は非常に鋭利であり、深刻な怪我に繋がる可能性があります。

1. 芝刈り機デッキを一番高い切断位置まで上げます。「切断高の調節方法」を参照してください。
2. 芝刈り機デッキの下側を掃除し、刈られた芝やごみが溜まっている場合はすべて取り除きます。
3. デッキの上側を掃除し、刈られた芝やごみをすべて取り除きます。
4. ブラシまたは圧搾空気を使ってライダーに付着したごみを取り除きます。

エンジンの清掃方法

ブラシまたは圧搾空気を使ってエンジンやその周囲に付着したごみを取り除きます。

タイヤ空気圧の点検方法

タイヤゲージを使用してタイヤの空気圧を点検し、必要に応じて空気を入れるか抜きます。正しい空気圧については「製品仕様」を参照してください。

芝刈り機の刃の停止時間のチェック方法



警告



エンジンと刃が動作するためには以下の操作手順を行う必要があります。十分に注意して実施してください。はじめに緩めた部品やツールの部分をきれいにします。刃を動かすのは運転席に座っている時だけにします。

1. エンジンの始動
2. 芝刈り機の刃を嵌めます。
3. 芝刈り機の刃を外します。刃は、刃制御装置をオフ位置にしてから5秒以内に回転を停止しなければなりません。



警告

刃は、オフ位置になった後5秒以内に回転を停止しなければなりません。機械を運転しないでください。認定ディーラーに連絡して調整してもらってください。

4. 刃が5秒以上回転し続ける場合は機械を運転しないでください。認定ディーラーに連絡して支援を受けてください。

メモ：芝刈り機の刃の停止時間に関わる調整や整備は認定ディーラーが実施しなくてはなりません。

バッテリー整備の実施方法

「バッテリーの整備」を参照してください。

ブレーキ/パーキング・ブレーキのチェック方法

1. 機械のブレーキが正しく機能するか確認します。
 - パーキング・ブレーキをかけ、機械を押します。後輪がスリップするはずです。
 - 機械を前進させ、ブレーキをかけます。5フィート(1.5メートル)未満で機械が完全に停止するはずです。
2. ブレーキが正しく機能しない場合、機械を運転しないでください。認定ディーラーに連絡して整備をしてもらってください。

ライダーの保守(高度)



警告

装置の端を下にして立てないでください。そのようにすると不安定な状態となり、重傷事故や装置の損傷を招く恐れがあります。

芝刈り機の刃のチェック方法



危険

過度の摩耗または損傷の兆候を示す切断刃は使用しないでください。

1. 刃取り付けボルト(A、図27)のトルクを点検します。必要に応じて、トルクを30~40フィートポンド(41~54 Nm)に調節します。
2. 刃の鋭さ、摩耗および損傷を確認します。「芝刈り機の刃の点検方法」を参照してください。
3. 刃が真っ直ぐになっているか確認します。「芝刈り機の刃の調整方法」を参照してください。

芝刈り機の駆動ベルトのチェック方法

芝刈り機ベルトは認定ディーラーによって磨耗や損傷がないか、また正しい張力であるか確認しなくてはなりません。保守スケジュールを参照してください。

燃料フィルターの整備方法



警告



燃料フィルターのサービスを行う前に、少なくとも5分待ちエンジンを完全に冷ましてください。

1. 燃料タンクを空にします。
2. エンジンを始動し、燃料が切れるまでエンジンを稼働します。イグニッション・スイッチをオフにしてキーを抜きます。
3. プライヤーを使用して、ホースクランプ(A、図28)をスライドさせて1インチ(2,5cm)ほど燃料フィルター(B)から離します。

メモ:燃料フィルターの位置はモデルによって異なります。

4. 燃料ラインをフィルターから外します。フィルターを廃棄します。
5. 新しい燃料フィルターを取り付けます。燃料ラインがフィルターに完全に取り付けられているか確認してください。
6. ホースクランプをスライドさせて燃料ラインの端から1/8インチ(3mm)ほどの場所に戻します。
7. 燃料を燃料タンクに入れます。燃料システムに漏れがないか確認します。

潤滑方法

グリースフィッティング

装置にある次の部品にはグリースフィッティングが装備されており、定期的な注油が必要です。グリースガンを使って汎用グリース(NLGI No.2またはそれと同等の品)を塗布してください。

・前輪ベアリング

グリースガンを使用して前輪グリースフィッティング(A、図29)に汎用グリースを5滴塗布します。

・シフトレバー(マニュアルドライブモデル)

グリースガンを使用してシフトレバーグリースフィッティング(A、図30)に汎用グリースを2滴塗布します。

・後輪ベアリング(マニュアルドライブモデル)

1. 左後軸ベアリングのグリースフィッティング(A、図31)にはグリースガンを使用して汎用グリースを3滴塗布する必要があります。
2. 右後軸ベアリングはディファレンシャル潤滑剤で潤滑され、グリースは必要ありません。

ディファレンシャル/チェーンケース(マニュアルドライブ装置)

ディファレンシャル装置およびチェーンケースの注油は認定ディーラーが実施しなくてはなりません。

芝刈り機の刃のスピンドル

これらの装置に使用されている芝刈り機の刃のスピンドルには密封スピンドルベアリングが装備されており、注油の必要はありません。

芝刈り機デッキ連結部

芝刈り機デッキ連結部のピボット点に潤滑剤を塗布する場合は認定ディーラーにお問い合わせください。

その他の部品

通常の保守に加え、定期的に以下の部品に磨耗や損傷がないか認定ディーラーによって注意深く点検する必要があります。

- すべてのブッシングおよびピボットエリア。
- 両方の前輪キングピンを点検します。
- トランスミッションシフトレバーおよび係止装置。(マニュアルドライブモデル)
- クラッチディスク(マニュアルドライブモデル)
- クラッチヨーク。(マニュアルドライブモデル)
- 芝刈り機デッキの連結部とピボットエリア。

摩耗したり損傷を受けている部品を交換します。修理時は工場認定の交換部品または同等部品のみを使用します。

バッテリーの保守 - バルブ調整タイプ

装置に搭載されているバッテリーは密封型であり保守の必要はありません。正しく充電を繰り返すこと以外に特別な注意は不要です。

エンジンの取り外し方法

1. 運転席を上げ、バッテリーコンパートメントにアクセスできるようにします。
2. 黒色(負極)ケーブル(A、図32)をバッテリーの負極端子から外します。取り付け用ハードウェアを元に戻します。



警告



必ず黒色の負極(-)ケーブルから最初に外してください。

3. 赤色(正極)ケーブル(B)をバッテリーの正極端子から外します。取り付け用ハードウェアを元に戻します。
4. ワイヤフォーム(D)からバッテリーストラップ(C)の一端を外します。
5. 慎重にバッテリー(E)を取り出します。

バッテリーの充電方法

1. バッテリーを外します。「バッテリーの取り外し方法」を参照してください。
2. 換気が十分な場所にバッテリーを置きます。
3. 12ボルト定圧バッテリー充電器をバッテリー端子に繋ぎます。赤色が正極(+)、黒色が負極(-)端子です。
4. バッテリーを2~4時間充電します。



警告



本装置のバッテリーには、バルブ調整(密封型)の液漏れ防止バッテリー用にデザインされた定電圧(CV)充電器を使用する必要があります。標準の充電器を使用するとバッテリーが損傷するおそれがあります。このバッテリーに高速充電器を使用しないでください。バッテリーを装置に取り付けられた状態で充電しようとししないでください。

バッテリーの取り付け方法

1. 運転席を上上げます。
2. バッテリー(E、図32)がワイヤフォーム(D)の中で図のように向くよう、バッテリーコンパートメントに取り付けます。
3. バッテリーをバッテリーストラップ(C)で固定し、何も無いほうの端をワイヤフォームに引っ掛けます。
4. 取り外したハードウェアを用いて赤色の正極(+)ケーブル(B)をバッテリーの正極端子(+)につなぎます。
5. 取り外したハードウェアを用いて黒色の負極(-)ケーブル(A)をバッテリーの負極端子(-)につなぎます。



警告



必ず黒色の負極(-)ケーブルを最後に接続してください。

6. 端子の周りに少量のグリースを塗布し、腐食を防止します。
7. 正極端子カバー(F)を正極端子にかぶせます。



警告



必ず正極端子を正極端子カバーで覆ってください。

バッテリーの保管方法

使用シーズンが終わったため装置を保管する場合、バッテリーを取り外し、充電してから保管することをお勧めします。

1. バッテリーを外します。「バッテリーの取り外し方法」を参照してください。
2. バッテリーを充電します。「バッテリーの充電方法」を参照してください。
3. バッテリーは装置から離れた木の床の上に保管してください。コンクリートの面の上にバッテリーを保管しないでください。

保管

1. 刈られた芝やごみをすべて取り除き、装置をしっかりと掃除します。
2. 必要に応じて保守と潤滑剤の塗布を行います。
3. 燃料タンクから燃料を排出します(燃料劣化防止剤を使用している場合を除く。「燃料システム」を参照)。
4. エンジンを始動し、燃料が切れるまでエンジンを稼働します。こうすることで保管中もキャブレターおよび燃料システムをクリーンに保つことができます。
5. バッテリーを取り外し、保管します。「バッテリーの保管方法」を参照してください。

燃料システム

30日以上保管すると燃料が劣化する恐れがあります。劣化した燃料は、燃料システムや要なキャブレター部品に酸やガムが生成され堆積する原因となります。燃料の鮮度を保つため、Briggs & Stratton製 Advanced Formula Fuel Treatment & Stabilizer の使用をお勧めします。この製品はBriggs & Stratton純正サービスパーツ販売店で入手可能です。

指示に従って燃料劣化防止剤が追加された場合、エンジンからガソリンを抜くことは不要です。保管する前にエンジンを2分間起動し、燃料システム全体に劣化防止剤を循環させます。

エンジン内のガソリンに燃料劣化防止剤を添加しない場合、既定の容器にドレインする必要があります。燃料が切れて止まるまでエンジンを回転します。鮮度を保つため、保存容器にも燃料劣化防止剤を使用すること推奨します。

エンジンの調整および修理

エンジンの調整と修理は認定代理店のみで行ってください。

ライダーの調整および修理

以下の調整および修理項目は所有者で行えます。しかし、認定ディーラーによって行うことをお勧めします。

芝刈り機の刃の点検方法



警告



切断刃の取り扱い時または作業時は厚手の革手袋を着用します。刃は非常に鋭利であり、深刻な怪我に繋がる可能性があります。過度の摩耗または損傷の兆候を示す切断刃は使用しないでください。

刃に過度の摩耗または損傷の兆候がないかどうかを頻繁に点検します(図33)。

(A) 新しい刃

(B) 摩耗限度(ノッチが始まる)

(C) 危険な状態 - 芝刈り機を使用しないでください!新しい刃と交換します。認定販売店に連絡します。

芝刈り機の刃の研磨方法

認定ディーラーに連絡して芝刈り機の刃の研磨に関する支援を受けてください。

芝刈り機の刃の調整方法

認定ディーラーに連絡して支援を受けてください。

芝刈り機デッキの水平度の調整方法



警告



切断刃の取り扱い時または作業時は厚手の革手袋を着用します。刃は非常に鋭利であり、深刻な怪我に繋がる可能性があります。

左右の水平度の調整

デッキの水平度の調整を行う前に、タイヤの空気圧を確認します。「タイヤ空気圧の点検方法」を参照してください。タイヤに適切な空気が入っているが均一に芝が刈れない場合、デッキ左右の水平度を調整します。

1. 装置を平らな水平面に配置します。
2. エンジンを切り、キーを抜きます。スパークプラグからスパークプラグの配線を切断し、ワイヤをプラグから離れた位置に固定します。
3. 芝刈り機デッキを一番高い切断位置まで上げます。

- 山形鋼、配管またはそれに似た物体をデッキの後部中心の下に挟みます。
- デッキの後ろが前の手順で芝刈り機の下に置かれた物体に支えられるようになるまで、芝刈り機デッキを下げます。(リアハンガーロッド(A、図36)は緩んでいるはず)
- 厚手の革手袋を着用し、刃先が芝刈り機デッキの左右を向くまで刃を回転します。刃先(A、図34)から床(B)までの距離を測定します。左右の測定値(C)の差が1/8インチ(3mm)以内である場合、デッキは水平であるとみなせます。左右の測定値の差が1/8インチ(3mm)より大きい場合、調整を続けます。
- 調整が必要な場合、左前のリフトアームにある偏心ナット(A、図35)をゆっくりと回し、互いの刃先の差が1/8インチ(3mm)以内になるようにします。
- 芝刈り機デッキを上げ、山形鋼、配管、またはそれに似た物体を取り除きます。
- 続いて前後の水平度を点検します。

前後の水平度の調整

メモ：先に左右の水平度の調整を実施してください。

- 装置を荒れていない水平な面に置き、刃先がデッキの前後を向くまで刃を回転します。
- 刃先(A、図34)から床(B)までの距離を測定します。距離(C)は同じ値であるか、後ろが前より1/8～1/4インチ(3～6mm)低くなくてはなりません。後ろの刃先が前より高い位置にある場合、または前よりも1/4インチ(6mm)以上低い場合、調整を続けます。
- 調整が必要な場合、ハンガーロッド(A)の左右にあるロックナット(B、図36)を同じ回転数だけ回し、デッキの後ろを上下させます。
- 刃先を再度測定します。
- 適切な水平度になるまで手順2～4を繰り返します。

ブレーキ/パーキング・ブレーキの調整方法

認定ディーラーに連絡して支援を受けてください。

芝刈り機刃のベルトの張力の調整方法

認定ディーラーに連絡して支援を受けてください。

刃のブレーキの調整方法

認定ディーラーに連絡して支援を受けてください。

トラブルシューティング

問題	考えられる原因	是正処置
エンジンが始動しない	1.オペレータが着席していない。	1.運転席に座る。
	2.イグニッションがオフの位置にある。	2.イグニッションスイッチをスタート位置にする。
	3.クラッチ/ブレーキペダルが十分に踏み込まれていない。	3.クラッチ/ブレーキペダルを十分に踏み込む。
	4.芝刈り機の刃が嵌合している。	4.芝刈り機の刃を外す。
	5.燃料タンクが空。	5.新しい燃料を燃料タンクの適切なレベルまで注入する。
	6.エンジンのチョークが必要(装備されている場合)。	6.エンジン速度コントロールをチョーク位置に合わせる(装備されている場合)。
	7.バッテリーが消耗しているか上がっている。	7.バッテリーを再充電するか交換する。
	8.バッテリーハーネス/ケーブルが外れている。	8.バッテリーハーネス/ケーブルを接続する。
	9.スパークプラグのワイヤが外れている。	9.スパークプラグのワイヤをスパークプラグに繋げる。
	10.ヒューズが飛んだ。	10.新しい20アンペアのヒューズに交換する。
起動後のエンジンが失速する	1.オペレータが正しく座っていない。	1.運転席に正しく座る。
	2.エンジン速度コントロールがチョーク位置になっている(装備されている場合)。	2.エンジン速度コントロールを高速の位置にする。
	3.燃料タンクが空。	3.新しい燃料を燃料タンクの適切なレベルまで注入する。
	4.エンジンの空気プレクリーナーおよび/または空気クリーナーが汚れている。	4.すべてのごみを取り除く。
	5.スパークプラグに不具合があるまたはギャップが適切に設定されていない。	5.スパークプラグを修理する。
	6.燃料フィルターが制限されている。	6.燃料フィルターを交換する。
	7.水、ごみまたは古くなった燃料が燃料システムに入っている。	7.燃料を取り出して燃料システムを清掃する。
エンジンの出力が低下する	1.エンジンの空気プレクリーナーまたは空気クリーナーが汚れている。	1.フィルターを清掃または交換する。
	2.スパークプラグが故障した。	2.スパークプラグを修理する。
	3.水、ごみまたは古くなった燃料が燃料システムに入っている。	3.燃料を取り出して燃料システムを清掃する。フィルターを交換する。
	4.エンジン冷却スクリーンにごみが蓄積している。	4.エンジン冷却スクリーンからすべての堆積物を取り除く。
過度の振動	1.刃の部品が緩んでいる。	1.緩んでいる部品を締める。
刃で芝を切断できない	1.刃コントロールがオフの位置にある。	1.刃コントロールをオン位置に合わせる。
適切に芝が刈れない	1.タイヤの空気圧が均一でない。	1.タイヤの空気圧を点検し、必要に応じて調整する。
	2.切断高が低すぎるまたは高すぎる。	2.切断高を調節する。
	3.エンジンの速度が遅過ぎる。	3.エンジン速度コントロールを高速の位置にする。
	4.前方対地速度が遅過ぎる。	4.装置の前方対地速度が遅くなるよう調節する。
	5.切断が左右交互の段階状になる。	5.左右の水平バランスを調整する。
	6.前方から後方へのデッキピッチが過度。	6.前後の水平バランスを調整する。

問題	考えられる原因	是正処置
芝が適切に吐き出されない。	1.エンジンの速度が遅過ぎる。	1.エンジン速度コントロールを高速の位置にする。
	2.前方対地速度が速過ぎる。	2.装置の前方対地速度が遅くなるよう調節する。
	3.芝が濡れている。	3.芝が乾いた状態で芝刈りを行う。
	4.刈られた芝やごみがデッキ下に溜まっている。	4.デッキの下側をきれいにする。

他のすべての保守上および運転上の問題については、最寄りの認定ディーラーに連絡してください。

仕様

	7800954-00 / 7800954-01	7800950-00 / 7800950-01	7800951-00 / 7800951-01	7800952-00 / 7800952-01 / 7800953-00 / 7800953-01
デッキサイズ (in / cm)	28 / 71	28 / 71	33 / 84	33 / 84
切断高 (in / cm)	1.5 - 4.0 / 3,8 - 10,2	1.5 - 4.0 / 3,8 - 10,2	1.5 - 4.0 / 3,8 - 10,2	1.5 - 4.0 / 3,8 - 10,2
トランスミッションタイプ	ディスクドライブ	ディスクドライブ	ディスクドライブ	ハイドロ
対地速度 - 前進(mph / kph)	1.0 - 4.5 / 1,6 - 7,2	1.0 - 4.5 / 1,6 - 7,2	1.0 - 4.5 / 1,6 - 7,2	0 - 4.25 / 0 - 6,84
対地速度 - 後退(mph / kph)	0 - 1.9 / 0 - 3,1	0 - 1.9 / 0 - 3,1	0 - 1.9 / 0 - 3,1	0 - 1.7 / 0 - 2,8
排気量* (cc)	223	344	344	500
スパークプラグの間隔(in / mm)	0.030 / 0,76	0.030 / 0,76	0.030 / 0,76	0.030 / 0,76
スパークプラグトルク(lb-in / N.m)	180 / 20	180 / 20	180 / 20	180 / 20
オイル容量(oz / l)	20 / 0,59	48 / 1,40	48 / 1,40	48 / 1,40
燃料タンク容量(qt / l)	8 / 7,6	8 / 7,6	8 / 7,6	8 / 7,6
タイヤ空気圧 - 前 (psi / バール)	15 / 1,03	15 / 1,03	15 / 1,03	15 / 1,03
タイヤ空気圧 - 後 (psi / バール)	12 / 0,83	12 / 0,83	12 / 0,83	12 / 0,83

***出力定格:**各ガソリンエンジンモデルの出力定格は、SAE(自動車技術者協会)のコードJ1940(小型エンジン出力とトルクのレーティング手続き)に従ってラベル上に表示され、SAE J1995に従ってレーティングが行われます。トルクは、ラベルにrpmと示されているエンジンでは2600 RPMで、その他のエンジンでは3060 RPMで計測され、馬力は3600 RPMで計測します。グロス出力曲線はwww.BRIGGSandSTRATTON.COMでご覧いただけます。ネット出力は排気装置と空気清浄機を取り付けた状態で測定され、またグロス出力はこれらの部品のない状態で測定されます。実際のグロスエンジン出力はネットエンジン出力よりも高く、また特に周囲の動作条件や各エンジンの特性の違いによる影響を受けます。様々な製品にエンジンが搭載されることを考えると、特定の出力装置で使用された場合、ガソリンエンジンは定格のグロス出力を得られない場合があります。この差は、エンジン部品(空気清浄機、排気装置、充電器、冷却装置、キャブレター、ガソリンポンプなど)、使用における制限、周囲の動作環境(温度、湿度、海拔)、各エンジンの特性の違いなど様々な要因によって生じます。製造および能力上の制限により、Briggs & Strattonでは、このエンジンの代わりにより高い定格出力のエンジンを使用する場合があります。

